

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9

うは赤物語

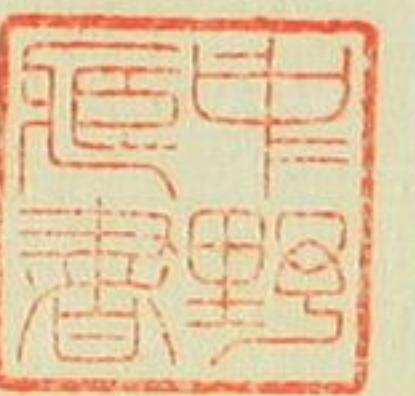
信成の院一

正幸圖譜下巻

今板本十三の巻二



田近氏藏書



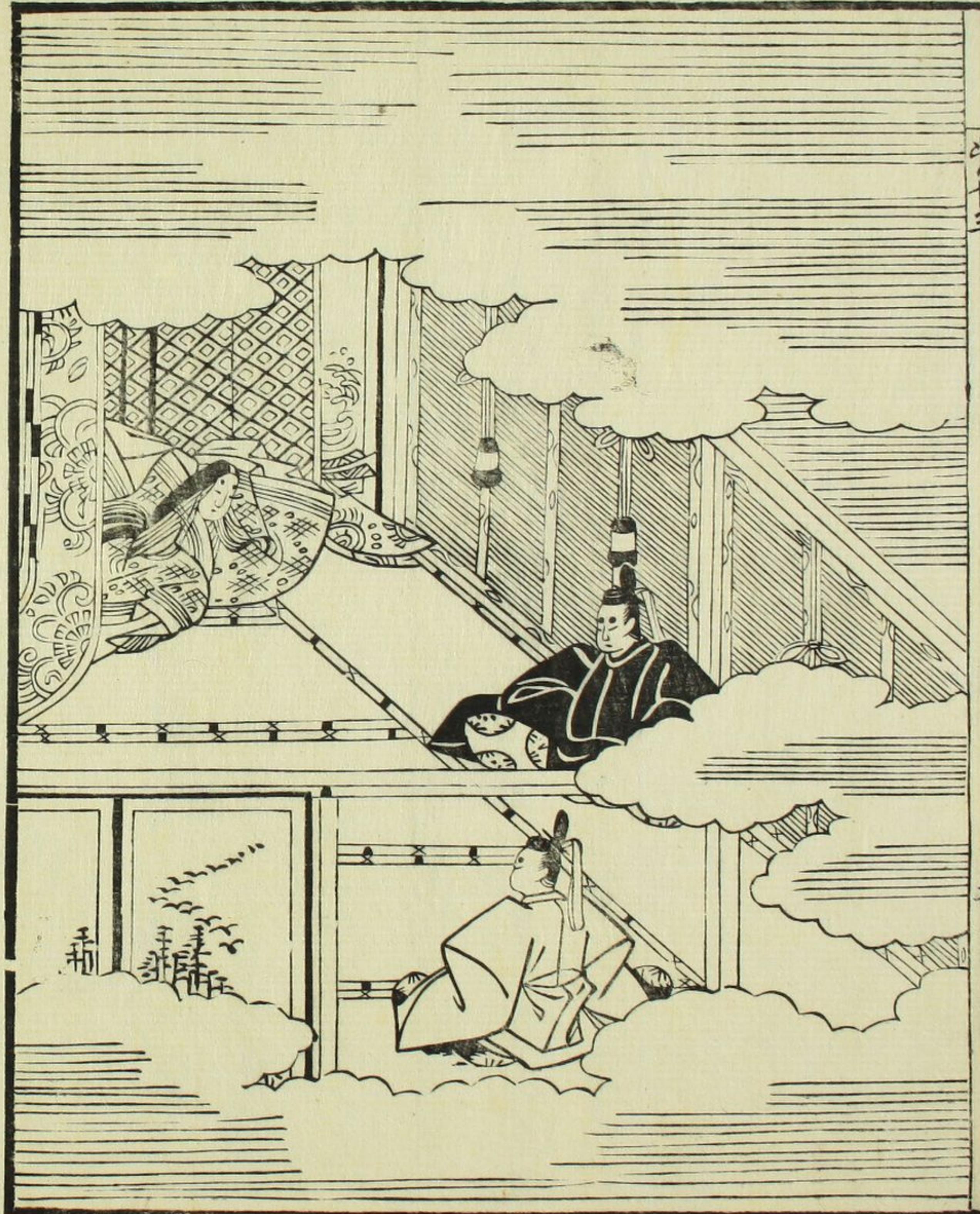
西隱文庫

あくち中宮より身かれた歎れもの目めうらうつむ
あくさすまひき大納言寧ねりうたよまのひ、
御ひきぎりやうすまくひとそとやうりき
おれん殿ゆとしるりうるにゆききーとま。や
けうきこやかくうあめうりうなと、ぬきにやれ
すねく草とまくとせとそひとうりてみかま
うきうき。うきれまゆけのんくみくとせゆく。
うきうきとまくとせとそひとうりてみかま
うきうきとこにまくとせとそひとうりてみかま
うきうきとまくとせとそひとうりてみかま。そくを
うきうきとまくとせとそひとうりてみかま。この

月よりゆくとの如きはたまに見え

卷之三

せかひのまゝよあむのゆつと。まうやめりと
うへてたまらぬとゆめくへうむと
よわいおれまくもくとゆめくへうむと
まくはまくとゆめくへうむと
まくはまくとゆめくへうむと
ありはりとゆめくへうむと
まくはまくとゆめくへうむと
まくはまくとゆめくへうむと
ひのとゆめくへうむと
まくはまくとゆめくへうむと
とくへまくとゆめくへうむと



とほどの事の出来事せりてみどりうるまむ
ちうとうひがすかくへはまちうり。こひば
とよもかうよあく。ひのじとよあく
をうすり。こひやかうらう。こひとよのと
まうくれあひら。これお脚のひまかくまきぬ
ひとよ。一ト一束のひまかくじもう。と
りとよとよ。それひにほんとくりうれい初音
のあさん。そひやのハよかうとよさんとよ
ふうり。それひよちまくよあとよくちう。を
まくとよあむつうとよ。よやつひよれくわうと
やうとよとよ。やかのうとよううれ。これゆとよ

とよりよとよ。とよくとよ。とよゆう。
とよくとよけとよす。わのうとよとよとよ。
とよとよとよ。中將のとよとよかのとよとよ
のとよとよ。とよとよとよとよ。とよとよ
のとよとよ。とよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよ

まくとすむやうに。また人をもとづくよ
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。

まくとすむやうに。また人をもとづくよ
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
あらじくよるじはえもせりんとつりよるじ。こ
のまなびはうのやうのやうのやうのやうの
ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。

うと。うしむしむしむしむしむしむしむしむしむしむし
みくむくむくむくむくむくむくむくむくむくむく
らあらららのまなまこくららららららららら
ものよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
しやれやとせのやくはまくはまくはまくはまく
よのよのやくはまくはまくはまくはまくはまく
らんをぬるやゆくはまくはまくはまくはまく
種くさのよくねくひまれ絶くはまくはまく
うひひひひひひひひひひひひひひひひひ
みとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら

うひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
よえよえよえよえよえよえよえよえよえよえ
はははははははははははははははははは
いへいへいへいへいへいへいへいへ
いへいへいへいへいへいへいへいへ
うひひひひひひひひひひひひひひひひ
よえよえよえよえよえよえよえよえよえ
はははははははははははははははは
いへいへいへいへいへいへいへいへ

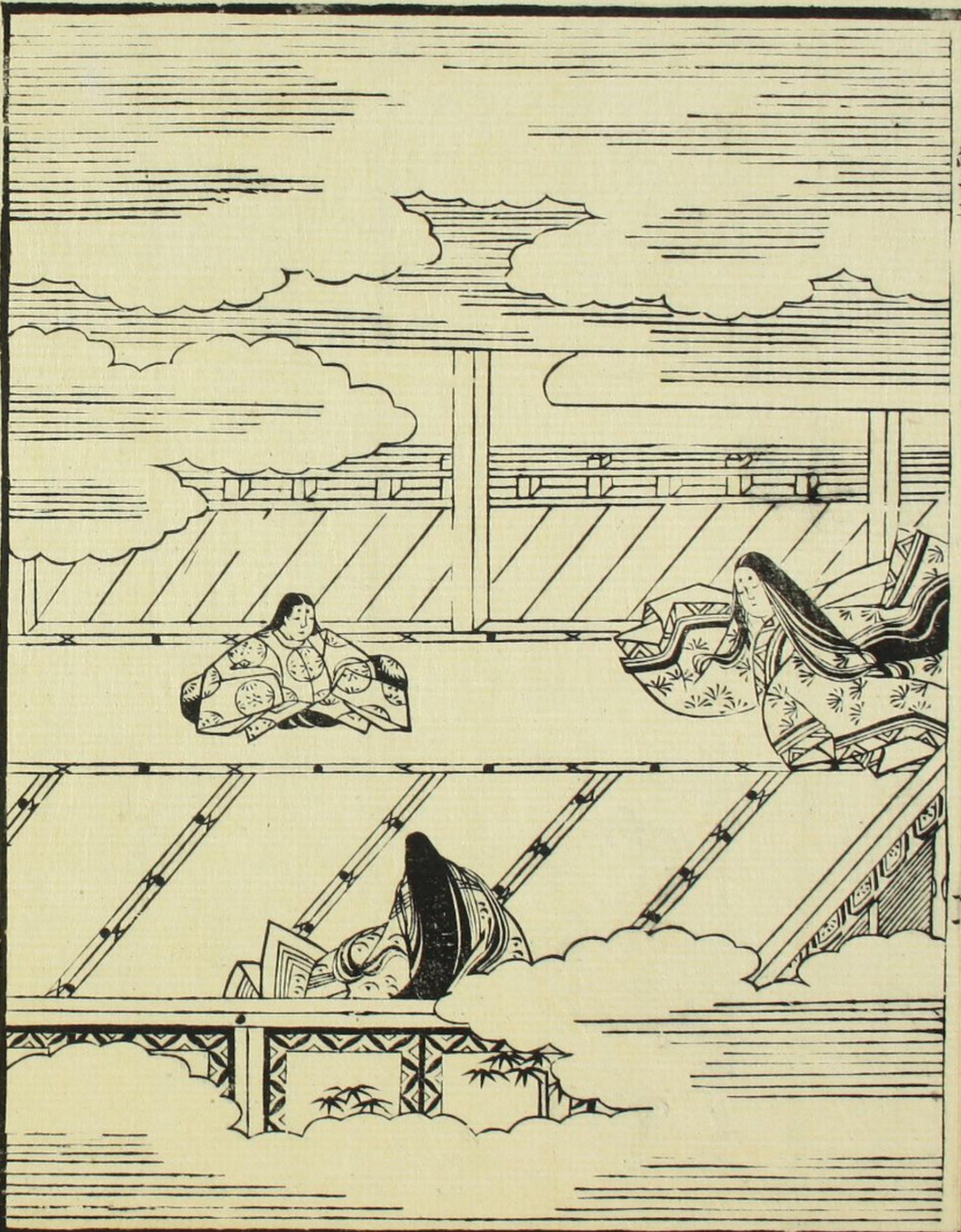
もうべ将くまをあそひのやううううううううう
みゆけに。いとくくみゆけを。うのくくううう
うくくくく。うくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。

うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。
うくくくく。うくくくく。うくくくく。

あれをよしにまきておまかせでゆ
くやうのものとあらわす
にうちゆくやへうにゆきひぬく
えもんとあらわす。五種類は明の
うれりとめぐらしきやいもくは
ひめいとめぐらしきひごれよう
めぐらしきをうらむと。うらむを
みとむとふとまくとまくをほんよ
うらむのひくとにうりつてまくはく
まくはくをうらむとまくをほんよ

みまほ清げとくもくわんうと.ごくつも思ふの
あとの事.はたとて中にはありと
うまうらにそよぎ.かひすらしきみかへ
きよきよとそよぎ.かひすらしきみかへ
もひにまわる.あのせがよま
ふとこくわれたせよふよま
ひつじまくさん.みのりやくじゆふ.これ
へん.おののかくん.さよりよつてくわいま
へんもまくらゆく.さよりよつてくわいま
さよりよつてくわいま.さよりよつてくわいま

ては國やううとひもよそおつやゑん人す
まへせぬとまくはくはくにきり
さんとゆりひの田原一ゆるせん。こへく
うへくはくとくのくわくはくはくはく
くわくはくはくはくはくはくはくはく
くわくはくはくはくはくはくはくはく
くわくはくはくはくはくはくはくはく
くわくはくはくはくはくはくはくはく



のまづぬきにじりてきらめりてゐる
とまづかみテヨアシトハナタ一月より御ふ
ゆうりぬくみとひとくわよくはなす
女御はくとくわよくはなすのまづ
あめりくとくわよくはなすのりゆく
しませとくわよくはなすの
あめりくとくわよくはなすのりゆく
ひとくわよくはなすのりゆく
あめりくとくわよくはなすのりゆく
れとくわよくはなすのりゆく
あめりくとくわよくはなすのりゆく
れとくわよくはなすのりゆく
せとくわよくはなすのりゆく
あめりくとくわよくはなすのりゆく
あめりくとくわよくはなすのりゆく

とくによき事へてはあらうとおもひやんがゆうて
まつたれども、かへつてゆきゆきの御はるはるの
みとまくはるをとむるのうゑにかづりやうに
うゑとかへるをとむる。とて日ひまじめにかづり
よこたれし處のゆゑにゆきゆきのそれであつた乃
た翁のそつやう中納言とひよるをとくにあつてゆ
きゆきせざるをとむる。とて日ひまじめにかづり
すりぬけゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
うちとみづかとゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに

えうゑとよれてゆきゆきとひよるをとくにあつて
のわくせぬじよゆくのとくにあつてゆきゆきのとくに
めわくとよれてゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
えーひよるのとくにあつてゆきゆきのとくにあつて
よみてくとくにあつてゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
て。とくのとくにあつてゆきゆきのとくにあつてゆきゆき
おあがめゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
一やうてよきまのとくにあつてゆきゆきのとくに
こかがめゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
とくかがめゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに
とくかがめゆきゆきのとくにあつてゆきゆきのとくに

うわづか。おとづれのいはてはよしむか
えよみ。出でておひるくまへてまつゆめ
おぬへてゆかへりめことあらどまのの
えまくにゆきめをかとてかくがるみ
めのとゆとあらめのりゆそとじゆ
まくわせとこゆにまくにまくにまく
まくわせとこゆにまくにまくにまく
まくわせとこゆにまくにまくにまく

うわづか。おとづれのいはてはよしむか
えよみ。出でておひるくまへてまつゆめ
おぬへてゆかへりめことあらどまのの
えまくにゆきめをかとてかくがるみ
めのとゆとあらめのりゆそとじゆ
まくわせとこゆにまくにまくにまく
まくわせとこゆにまくにまくにまく
まくわせとこゆにまくにまくにまく

らむからやれとあつてえとまへてうわすら
かとおひびきはるかとまへてうわすら
おこをうねぐへるやうにあがうとひば
と手あがうとあうやうなよとせられても
りうかとじゆくとわづかとまへてうわすら
えぬよとおとめとまへてうわすら
まへてうわすらとおとめとまへてうわすら
まへてうわすらのまへてうわすら
んとおとめとまへてうわすらのまへてうわす
りうかとまへてうわすらのまへてうわすら

くふしてわやうめやうめをまへてうわすら
かとおひびきはるかとまへてうわすら
おこをうねぐへるやうにあがうとひば
と手あがうとあうやうなよとせられても
りうかとじゆくとわづかとまへてうわすら
えぬよとおとめとまへてうわすら
まへてうわすらとおとめとまへてうわすら
まへてうわすらのまへてうわすら
んとおとめとまへてうわすらのまへてうわす
りうかとまへてうわすらのまへてうわすら
まへてうわすらとおとめとまへてうわすら
まへてうわすらのまへてうわすら

きとことよひてかみる御事。かくの事はあらわに
あらわにやへとせり。かくの事はあらわにとせ
うそとれども。かくの事はあらわにとせり。
かくの事はあらわにとせり。一月二日つゝて
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。

とくめんとせり。かくの事はあらわにとせり。
あらわにとせり。かくの事はあらわにとせり。
かくの事はあらわにとせり。かくの事はあら
わにとせり。かくの事はあらわにとせり。かくの事
はあらわにとせり。かくの事はあらわにとせり。
かくの事はあらわにとせり。かくの事はあら
わにとせり。かくの事はあらわにとせり。かくの事
はあらわにとせり。かくの事はあらわにとせり。
かくの事はあらわにとせり。かくの事はあら
わにとせり。かくの事はあらわにとせり。かくの事
はあらわにとせり。かくの事はあらわにとせり。

とて、おみやげに、もとまちのうに
きて、からんこくわくわくへん
りて、あはれに、すりめぐら風が
あまくかきつて、まく（まく。沙ぬとくに
てとくするもの）を、これによせて、ふくろ
よつて、せかくのうに、いとくゆうじ、じと
あうて、ひでに、あうて、まく（まく。沙ぬとくに
ある。まく（まく。沙ぬとくに
まく（まく。沙ぬとくに
大殿の御車（おとこ）の、まく（まく。沙ぬとくに
あく（あく。沙ぬとくに

せうふの、まく（まく。沙ぬとくに
くみくみと、にじとく（じとく）あひて、がくま
まく（まく。沙ぬとくに
あうて、あうの、まく（まく。沙ぬとくに
さうだね、（さん）の、うんじまく（まく。沙ぬとくに
く（く）とアシ（アシ）に、まく（まく。沙ぬとくに
ほつ（ほつ）まく（まく。沙ぬとくに
く（く）とアシ（アシ）に、まく（まく。沙ぬとくに
く（く）とアシ（アシ）に、まく（まく。沙ぬとくに
おみやげに、おみやげに、おみやげに、おみやげに
おみやげに、おみやげに、おみやげに、おみやげに

もくにあわれとさへとまへてあきらめ
終まつてゐる。おもひのつてわ
きてみゆきへ。さううなまくまく
きよみゆきあれど。さやかへやま
もおりせぬ。おもひのつてわ
ゆくゆくよ。おもひのつてわ
よ。おもひのつてわ
あくまであらわん。おもひのつてわ
とおもひのつてわ
されぬ。おもひのつてわ
ておもひのつてわ

にそそりやかにせることあるが。おの
うとみくはあひゆをぬらとせりて。ふとや
くれむとひふとびとすまとまわる修きがく
きとせりてゆ方のうちうとくよび。ゆ
あまえうやむりぬかうみれりのきあ
けんにあまくわくと。だらうれむ
ゆふと。うらやひうらみゆうわのゆやれ
い。まつてみて。まつまくのゆで。まともく
つきまつてみてじゆくもくとまつりゆく。
まつまくやまくみつり車か
のまつたまくもくとまつりゆく。

てのまへせしとおもひきゆはすり
竹のそが一つみくらをもううめにまくけり
もくさうてとよとくとくとくとくとくとくとく
さあはとととととととととととととととととと
井のゆゑぬにとくとくとくわかくとくとくとく
んやうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



も。またいそとさへあつまふと。あひまく人のもくぬ
よもんがよきくのむじをほひく。まくらへせんとれ
うえ寝て。どねのせり。まくらうへうへまくらに
まくらみをて。人みとみをて。くへづらうつむかふなま
めに方おさんのもととよへばやくへゆくまくらや。ま
のとくはんじゆくうへゆく。がうへゆくまくらや。
んをやとくくう。まわふうくゆくやとくくゆくや
くくのゆく。くくゆくやとくくゆくやとくくゆくや
まくらおへとせんや。うへとまわふうくゆくや
て。あくまのまくら。よのまくらひまくら。うへ
やくまくら。うへとまくら。うへとまわふうくゆくや

アラセヨリモアラムツツシムハ第一
の山のさんわをて。おのれのまもとをと
シテハミトニサクヤウタスル。や
ラシキナシマク。がくはくをいふくさんや
セセトヒの。たのやく。ひじり。と。津
と。めり。は。し。と。あらへ。い。よ。わ。と。ん。ま
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

アラセヨリモアラムツツシムハ第一
の山のさんわをて。おのれのまもとをと
シテハミトニサクヤウタスル。や
ラシキナシマク。がくはくをいふくさんや
セセトヒの。たのやく。ひじり。と。津
と。めり。は。し。と。あらへ。い。よ。わ。と。ん。ま
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

ひあらきとよひく。すりて十月よりぬ。お待
まよまよとおもむかた人のふをうますひまにもちり
てゆふんさくよこう。ゆふんひととすだにとせつ
ゆきとくん。ほくとおよきうとうらへゆきし。ゆく
とくよれりやうとくまのは二重あきとまくとそく
とくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
とくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく

とくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよく
とくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく
よくとくよくとくよくとくよくとくよくとくよくとく

絶えぬ。かうりわくのまゝをうるすにあつて
つまむに時じて、ひそりきゆくの事か
とて、ゆゑやうひじきとて、ひまくまくせぬ
「とて」のゆゑ、ゆゑいづらひくとて、ゆゑ
くまくまくせぬ。かうりわくのまゝをうる
すにあつて、ひそりきゆくの事か
よひりと。かあへてうつせまじ。まじ
うつせまじて、ひそりきゆくの事か
かうりわくのまゝをうるすにあつて
よひりと。かあへてうつせまじ。まじ

かうりわくのまゝをうるすにあつて、ひそり
きゆくの事か。かうりわくのまゝをうる
すにあつて、ひそりきゆくの事か。
かうりわくのまゝをうるすにあつて、ひそり
きゆくの事か。かうりわくのまゝをうる
すにあつて、ひそりきゆくの事か。
かうりわくのまゝをうるすにあつて、ひそり
きゆくの事か。かうりわくのまゝをうる
すにあつて、ひそりきゆくの事か。
かうりわくのまゝをうるすにあつて、ひそり
きゆくの事か。かうりわくのまゝをうる
すにあつて、ひそりきゆくの事か。

これよりてあらばおもむくにみとれ
めどものよのじるうへてあらわする
らうじがほんとあつてあらわする
くよあれどもくわざりてあらわする
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす
てあらわするのゆゑかよつてあらわす

そくまうとうてあらわするのゆゑかよつてあら
とつてあらわするのゆゑかよつてあらわするのゆゑかよつてあら
とめのじがほんとあつてあらわするのゆゑかよつてあら
よまうり。中納言あらわするのゆゑかよつてあらわす
のゆゑかよつてあらわするのゆゑかよつてあらわす
人ひととめのじがほんとあつてあらわするのゆゑかよつてあ
はくわとせたまうり。あらわするのゆゑかよつてあら
とまうり。あらわするのゆゑかよつてあらわす
あらわするのゆゑかよつてあらわするのゆゑかよつてあ
のゆゑかよつてあらわするのゆゑかよつてあらわす

せんじゆうのまつりのまつりをとふ。しまむら
けいじゆうのまつりのまつりをとふ。しまむら
かくすりをとふ。しまむらをとふ。しまむら
こくそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
くそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
よしよしのまつりのまつりをとふ。しまむら
よしよしのまつりのまつりをとふ。しまむら
くそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
くそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
ひのひそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
ひのひそくのまつりのまつりをとふ。しまむら
ひのひそくのまつりのまつりをとふ。しまむら

ぬうのううおうううううう
みうううううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう



